

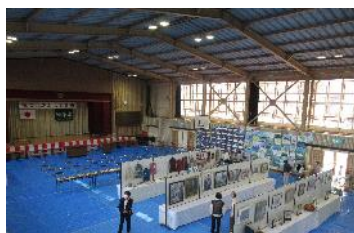
西深津学区まちづくり推進委員会

委員長 山岡 孝幸

（問合せ先）084-924-6009（西深津交流館）

事業内容

- (1) 学区納涼祭（花火大会）【納涼盆踊り大会を花火大会に変更して実施】（8月6日）
- (2) にしふかつ文化祭【学区善行市民表彰と展示中心】（10月22日・23日）
- (3) 人権週間記念事業【展示のみ】（12月4日～10日）プレイベントとして「ハートフルステージ」（12月3日）
- (4) とんど行事（1月13日）
- (5) 蓮池川清掃（5月～10月）6月と10月は全市一斉清掃を兼ねる。延べ198人の参加
- (6) 生きがいづくり事業（通年）延べ50人の参加
 - ①「レクでいきいき仲間づくり」（5月17日グラウンドゴルフ・11月17日ピンポン大会）
 - ②「フラワーアレンジメント講座」（12月26日）
 - ③「珪藻土で壁塗り体験と手形作り」（2月18日）
- (7) こども土曜クラブ（年間11回実施）延べ311人の参加
- (8) 学区防災訓練・研修会（11月27日）350人の参加
防災研修会「防災ボトルをつくろう」（3月9日）24人の参加
- (9) 学区まちづくり研修：岡山「愛生園」視察研修ほか（11月13日）21人の参加
- (10) コミュニティ育成事業（通年 学区内13町内会）
- (11) まちづくり推進委員会運営事業（通年 公民館）



にしふかつ文化祭



とんど祭り



まちづくり研修（長島愛生園）

成果

コロナ感染は完全収束には至っていない状況でしたが、できる形態に変更して実施する方向で実施してきました。止むを得ず「中止」とすることが多かった2020年度・2021年度でしたが、その経験から内容・やり方を創意工夫することにより実施し、目的を果たせることがわかってきた1年でした。

課題

“町内会離れ”が、コロナ禍の影響により進んで来ている傾向があります。一人住まい・高齢者夫婦世帯の増加が進み、町内会役員のなり手の問題等がその要因となっています。単一町内会では解決できないことも増えつつある状況にあります。

課題解決に向けて

日常生活を送る上での高齢化問題等による生活課題・地域課題は、今後益々重要な事案となります。2023年度から公民館から交流館に移行し相談窓口としての役割も持つこととなりますが、そういったことや町内会・自治会活動を通じて住民ニーズ・地域課題等の把握に努め、課題解決に向けた福祉関係機関等との連携、地域の人材発掘・人材育成の視点からの“地域で出来ることは地域で解決できるまちづくり”をめざしていくことが重要になるように思われます。

好きです西深津・絆を結ぶまちづくり



We Love Nishifukatsu !

にしふかつ
しあわせ あられる
ふるさとに
かがやく えがお
つなごう きずな

来年 2024 年は、西深津学区創立 45 周年を迎えることとなります。

未だコロナ完全収束という状況ではありませんが、地球温暖化の影響による自然災害や近い将来の発生が言われて久しい南海トラフ地震や津波等に対する“備え”，益々すすむ少子高齢化社会が生み出す課題，日常生活を送る上で発生する“困りごと”等々，学区内にもさまざまな形の解決していかなければならない課題もあります。それらのことを振り返る時，西深津学区で掲げているスローガン『好きです西深津・絆を結ぶまちづくり』は，改めて，その重要性和目指す方向を示すものになっているように感じます。

2024 年，2029 年・・・5 年後 10 年後，さらにその先の未来のために，『好きです西深津』をスローガンから合言葉にして，“今できることをできる時に” 繋げていきます。

すべては子どもたちのために ～こども土曜クラブ～

学校五日制に伴って、「土曜日の子どもたちの居場所づくりを」という趣旨で，2002 年からスタートした「こども土曜クラブ」は，まちづくり推進委員会主催・各団体主管のもと，学校とも連携して取り組んでいます。“地域を知る” “地域の人を知る” 機会のひとつとして，子どもどうしの仲間づくり，“学び” の機会のひとつとして，取り組みました。



7/23 「蓮池川自然体験」



9/3 「交通安全教室」



11/26 「万華鏡とポップコーン作り」



12/24 「しめ縄づくり」



1/21 「ドッジボール大会」



3/4 「蔵王山ハイキング」